

カラー・パーマの“持ち”が悪いのは、髪のタンパク質不足が原因です。

ダメージヘアには、リ:プロサイバーのイオントリートメント！

リ:プロサイバー

マイクロスコープ

通常モード(×200)

赤外線モード(×200)

カラー褪色実験

通常のカラー

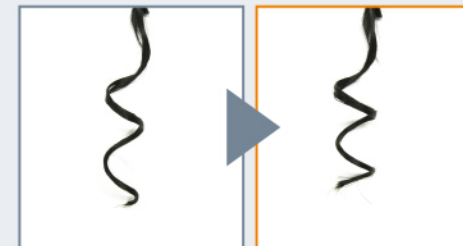
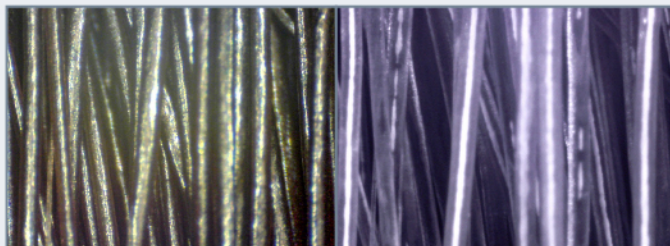
リ:プロサイバー使用

パーマウェーブ実験

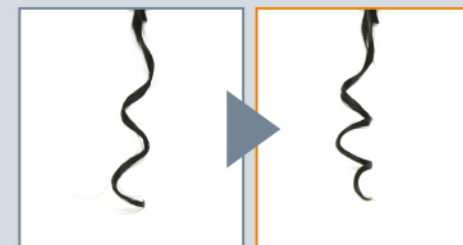
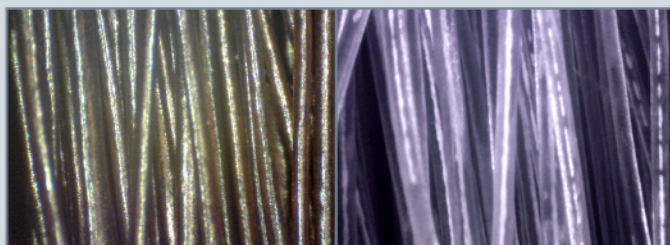
通常のパーマ

リ:プロサイバー使用

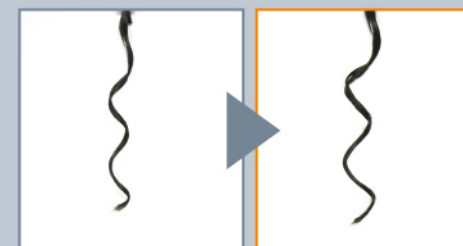
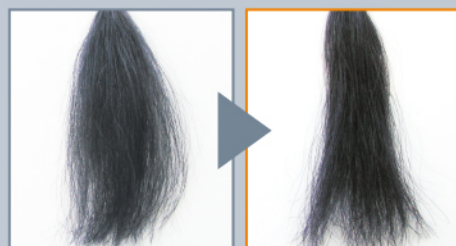
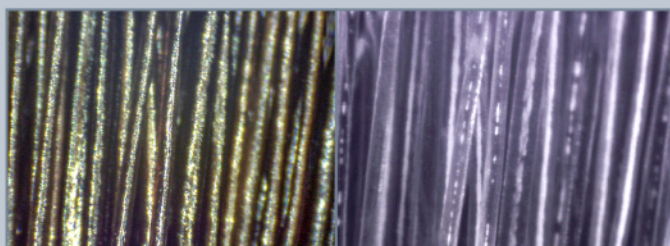
ダメージレベル0



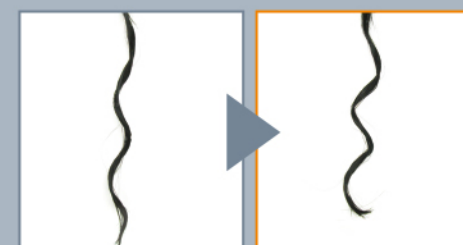
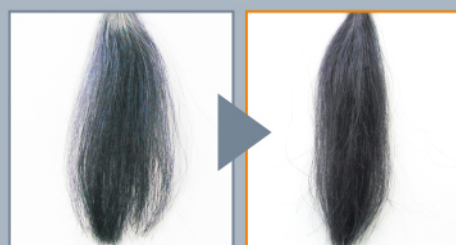
ダメージレベル1



ダメージレベル2



ダメージレベル3



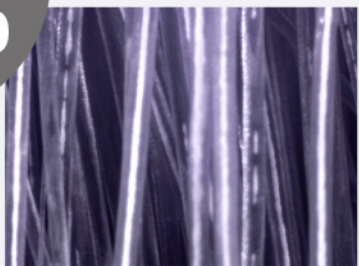
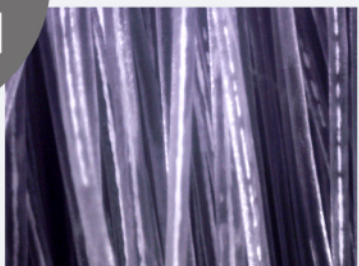
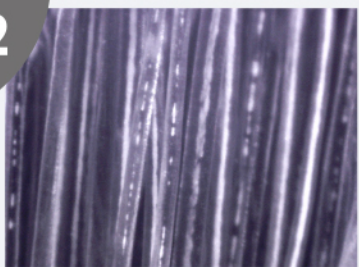
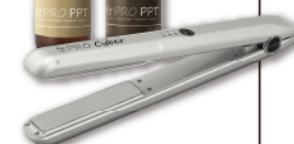
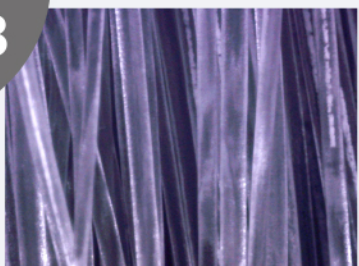
カラー褪色実験

ブリーチ剤を使いダメージレベルを意図的に作り、カラーを入れ、5日間シャンプーをした毛束の褪色の度合いを、リ:プロサイバーでPPTを導入したものと比べました。

パーマウェーブ実験

ブリーチ剤を使いダメージレベルを意図的に作り、10mmのロッドで巻いて、ウェーブの出方をリ:プロサイバーでPPTを導入したものと比べました。

ヘアデザインを楽しんでいる髪は、繰り返されるカラーやパーマなどでダメージを受けています。
ご自身のヘアダメージレベルを知るためにもチェックを受けましょう。

ダメージレベル	ヘアデザインへの影響	原因	お勧めメニュー
D-0 	理想的な状態 キューティクルが整い、髪内部のダメージがありません。		サロンメニュー リ：プロトリートメントシステム ・現状をキープするために ホームケア ●リ：シリーズ ●ヘアデコシリーズ
D-1 	・髪の輝きがなくなる ・乾燥しやすい ・毛先がまとまりにくい ・広がりやすい	・日々のシャンプー ・日々のトリートメント／リンス ・スタイリング剤 ・カラー／パーマ	サロンメニュー リ：プロサイバートリートメント ①リ：プロPPT(有用成分補給) ②リ：トリートメント(補給・保護) ③ヘアデコシルキーエマルジョン Sa ささら(ハリ・コシ) or Si しっとり (定着・保護) 
D-2 	・カラーの褪色が早い ・ウェーブの持ちが悪い ・ブローセットの持ちが悪い	・繰り返されるカラー／パーマによる髪内部への薬剤の残留 ・パーマ後、S-S結合の不足、システムイン酸の増加	D-1... ①PPT導入 ②塗布 D-2... ①PPT導入 ②塗布 ③塗布 D-3... ①PPT導入(多めに塗布) ②塗布(多めに塗布) ③塗布 
D-3 	・カラー定着が悪い ・パーマがかかりにくい ・切れ毛、ビビリ毛発生 ・ブローしても広がる	・繰り返されるカラー／パーマによる髪内部への薬剤の残留 ・過剰な熱処理によるタンパク変性	ホームケア ●リ：シリーズ ●ヘアデコシリーズ  